

令和 8 年度 第 3 回諏訪区地域協議会 次第

日時：令和 8 年 6 月 25 日（木）19:00～
会場：諏訪地区公民館 集会室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

地域活動資金の確保 カプセルトイ☆すわ

4 その他

(1) 次回開催日程について

日 時：令和 年 月 日（ ） 午後 時から
会 場：_____
内 容：_____

(2) その他

5 閉会

〔資料〕

- ・ 次第
- ・ 資料No.1 地域自治の推進に向けた今後の方策案について（抜粋）
- ・ 資料No.2 諏訪区地域協議会 自主的な審議のスケジュールと進捗状況
（令和 8 年 6 月時点）
- ・ 資料No.3 自主的な審議のフレームワーク「地域活動資金の確保について」

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その 5 個人の意見は平等に扱きましょう（一人の強い意見に偏らない）

令和8年度第3回諏訪区地域協議会

令和8年6月25日

3議題（1）自主的な審議

資料No.1

地域自治の推進に向けた 今後の方策案について

令和8年5月 地域政策課

- 地 域 活 動 へ の 支 援 -

＜＜ 抜 粋 ＞＞

協働・共創まちづくり補助金 + まちづくりスタートアップ補助金

ポイント

- ✓ 予算を「枠」配分する・・・自己負担が生じる問題への対処、提案期限に配慮、高額経費の計上への対応
- ✓ 旧制度の良い点を継承・・・
 - 地域活動支援事業 地域協議会の「協働の要」としての役割
→ 地域協議会が審査することにより、地域の合意による実施を担保（制度①にて対応）
 - 地域独自の予算事業 提案のしやすさ
→ 地域協議会を通さないことにより、萌芽的な活動を推奨（制度②にて対応）

【制度概要】

① 協働・共創まちづくり補助金

- ・ 地域が主体的に考え、地域の様々な主体による連携・協働により、持続可能な地域づくりに貢献する活動に対し、補助金を交付
- ・ 一定の予算額を28地域自治区へ配分

② まちづくりスタートアップ補助金

- ・ 地域課題を主体的に捉え、新たにまちづくりへ一歩踏み出すような活動を支援
- ・ 新たなまちづくりの担い手や団体の発掘にも期待

① 協働・共創まちづくり補助金

【概要】

一定額の補助金を28区を枠配分（均等割、人口割）

地域協議会で策定する「地域ビジョン」に基づく公益的な地域活動へ補助

【対象団体】

地域の団体（5人以上の構成員で、市の区域内で活動する法人及び団体。）

【補助率・額】

10/10以内。ただし、交際費・飲食費などの対象外経費を設定

総額は、現在見直しを行っている市の財政計画や、これまでの地域活動支援事業、地域独自の予算事業の状況等を踏まえて設定

【予算計上方法・提案時期】

地域政策課にて金額のみ予算計上、提案は実施年度の前年12月末に締切

【審査】

地域協議会にて実施（簡素な方法を想定）

② まちづくりスタートアップ補助金

【概要】

新規事業の実施に係る初期費用への支援

区域を越えた、区域にこだわらない活動も対象

【対象団体】

地域の団体（2人以上の構成員で、市の区域内で活動する法人及び団体。）

【補助率・額】

上限を設けて定額補助。①と同様に対象外経費を設定

総額は調整中

【予算計上方法・提案時期】

地域政策課にて金額のみ予算計上、提案は実施年度の前年12月末に締切

【審査】

市で実施

①協働・共創まちづくり補助金 取組実施までの流れ

1 これまでの取組

2 今後の取組の方向性

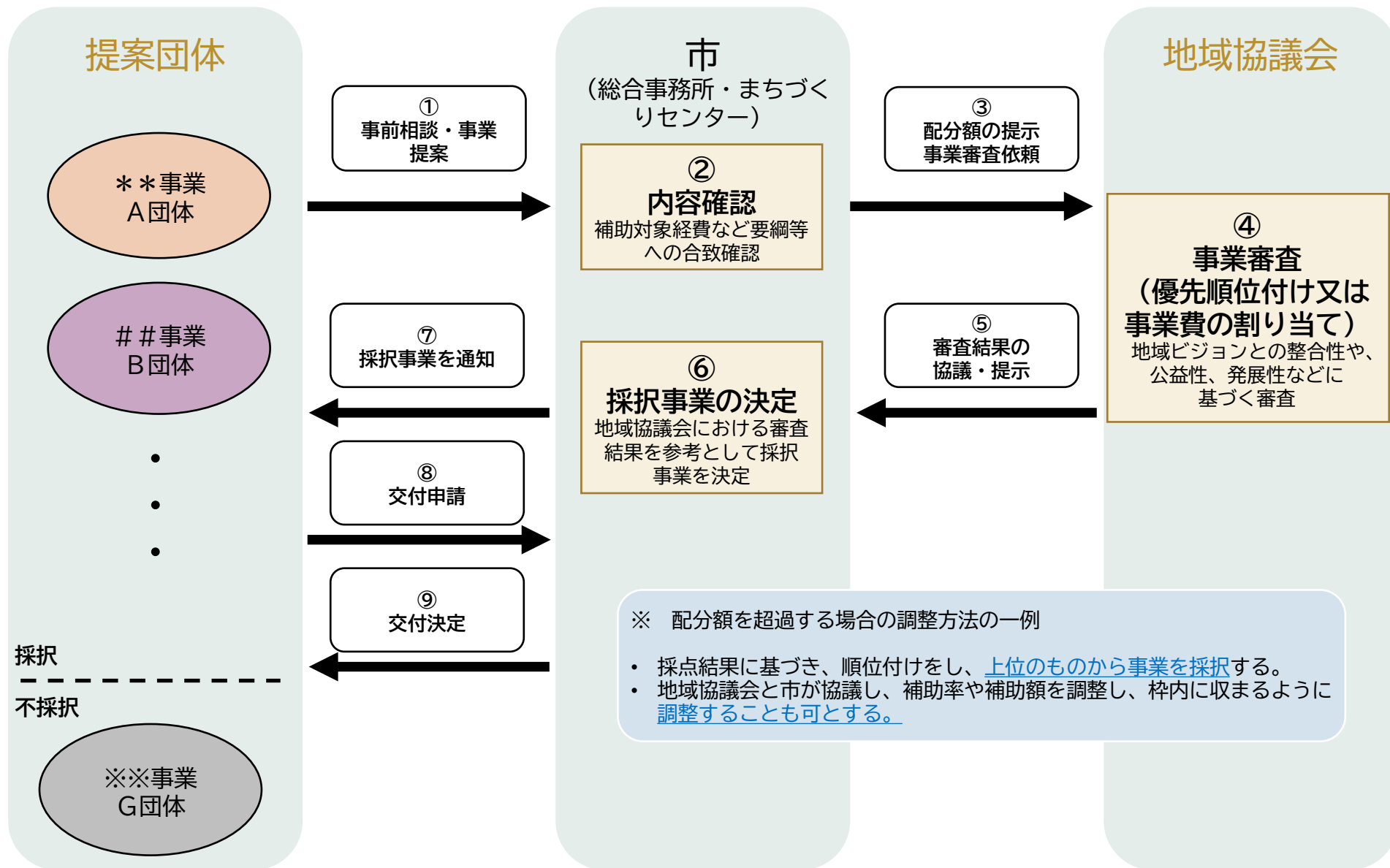
3 地域活動への支援

4 地域運営組織への支援

5 地域協議会

6 地域自治区の区域

7 スケジュール



今後のスケジュール（令和8年度）

項目	R8(2026)									R9(2027)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
方策案についての意見交換・修正		上越市議会との意見交換										
		地域協議会との意見交換										
			※ その他、有識者からの意見聴取や庁内検討を想定									
			意見交換を踏まえた方策案の修正									
地域活動への新たな補助制度の実施					周知、募集開始							
					提案受付				締切			
										提案内容検収		
											事業選定 (地域協議会)	

諏訪区地域協議会 自主的な審議のスケジュールと進捗状況（令和8年6月時点）

目標		開催時期	進捗と予定						その他
修正前（3月）	令和8年6月修正		修正前			修正後			
フリーディスカッション		1年目 (R6)	6月	第1回	-				
			7月	第2回	-				
			8月	第3回	-				
			9月						
見て、聞いて、感じて 「地域を知る」			10月	第4回	-				
			11月						
			12月	第5回	-				
			1月	第6回	-				
			2月	第7回	-				
			3月	⑤	地域の声を聞くⅠ…すわっ子クラブ				
町内会や地域で活動する団体の 意見や活動状況などを把握する 「地域の声を聞く」		2年目 (R7)	4月	①	地域の声を聞くⅡ…移住促進諏訪の会				
			5月	②	地域の声を聞くⅢ…諏訪の里づくり協議会				
			6月						
			7月	③	地域の声を聞くⅣ…未楽来すわ				
			8月	④	地域の声を聞くⅤ…芳澤謙吉翁顕彰会				
			9月	⑤	（3区合同地域協議会）				
			10月	第4回	-				
課題の抽出・整理・設定			11月	第5回	現在・将来の不安や期待→地域課題の整理				
			12月	第6回	「諏訪区でお金を使ってもらう仕組み」について具体的解決策シミュレーション				
			1月	第7回	-				
		2月	第8回	「地域活動資金の確保」についてをテーマに課題を整理					
課題協議↓	課題協議↓	3月	第9回	具体的な解決策の検討					
		4月	第1回						
		5月	第2回		第2回	-	地域自治の推進に向けた 今後の方策案について		
		6月	第3回		第3回	スケジュール変更／関係団体との協議、調整①			
関係団体との協議、調整	関係団体との協議、調整	7月	第4回	関係団体との協議、調整	第4回	関係団体との協議、調整②			
予算の提案に必要な事項の確認	令和9年度予算(補助) 申請準備	8月	第5回	予算の提案に必要な事項の確認	第5回	事業提案内容の整理（補助申請準備）	公の施設に関する担当 課説明、諮問		
令和9年度予算計上		9月	第6回	解決策となる事業の提案（令和9年度予算）	第6回				
関係団体との調整	関係団体との最終調整 令和9年度予算(補助)申請 課題協議 補助事業審査	10月			第7回				
		11月			第8回	関係団体との最終調整③			
		12月			第9回	解決策となる事業の提案（令和9年度予算）			
		1月			第10回	事業提案内容の確認			
		2月			第11回	-	補助事業審査		
令和9年度予算確認		3月			第12回				
関係団体との打合せ		4年目 (R9)	4月			第1回	関係団体との打合せ		
事業実施（関係団体による）			5月 ～ 12月	5月		第2回	事業実施（関係団体による）		
				6月		第3回			
				7月		第4回			
				8月		第5回		事業検証／活動報告会準備	
活動報告会／補助事業の審査			2月		第6回	活動報告会	-	補助事業審査	
補助事業審査			3月			第7回			

諏訪区の自主的な審議のフレームワーク

地域活動資金の確保について

令和8年度第3回諏訪区地域協議会
令和8年6月25日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3

自主的審議のテーマ 「地域活動資金の確保 ～カプセルトイ☆諏訪～」

地域団体の共通課題である資金確保について取り組み、活動の後押しをするとともに、いつまでも遺したい諏訪の里の魅力と歴史をカプセルに詰め、地域の活力向上と魅力発信に繋げる。

検討の方針、理念、
大切にしたいこと
など

- ・地域で収益を得て、団体に分配する
- ・地域内での資金の循環も視野に入れる
- ・安定して継続できる（一過性のものでない）
- ・二貫寺の森など地域資源を活用する
- ・地域外からも諏訪の魅力を感じられる
- ・諏訪の良さや懐かしさを感じられる
- ・子どもに配慮した価格設定

対象 (主なターゲット)	○諏訪区内の住民 ・公民館に来館した方（公民館に設置することが前提） ・子ども ・ ○諏訪区外からの来訪者 ・二貫寺の森の利用者 ・諏訪を故郷としている人 ・		
実施者	●実施主体： ○関係団体、協力者等 ・地域独自の予算事業活用団体（移住、里づくり、すわっ子、未楽来、芳澤翁 …五十音順） ・いなほ園（ひまわりの種） ・NP0 法人緑と森の学校(二貫寺の森管理) など		
実施（管理） 方法	設置場所	・岩島商店 ・郵便局 ・御母屋 ・公民館 ・イベント会場 など	
	カプセルトイの内容 及び発注（作成）者	内容	発注（作成）者
		ひまわりの種	
		森の炭焼き体験で作った炭	
		体操着や制服の古着交換	
		店舗等の引換券	
		桜の花びらの塩漬け	
		米、野菜、押し花など(引換券)	
		サロンで制作された作品	
		森イベントで制作された作品	
		森の顔出し看板（写真）	
		地域のノスタルジックな物（ポスト、サインポール等）	
		クロモジの木の加工品	
		諏訪かるた（50 音）	
		小学校の校章、校歌、校舎の外観（写真）	
		公民館の外観（写真）	
	☆やってみたい、回してみたい、欲しいと思えるものの ☆飽きられないよう、複数のバリエーションを用意する	小さなハンカチ（芳澤翁の書、校歌等をプリント）	
		3 地区 3 色 T-shirt キーホルダー	
		団体の活動に合わせた物（芳澤、はさ木等）	

	カプセルトイ(中身)の補充	・ 利活用団体が中身を用意し、補充する ・	
	資金の管理方法	・ ・	
	その他	・ 対象やイベントによって中身を入れ替える ・ 地域のみinnで中身を作る	
活用イベント、設置箇所	・ 各団体のイベント（二貫寺の森の活動、米南荘での茶会、 ・ すわ祭り ・ サロン ・ 公民館		
現金とコインとの メリット デメリット		メリット	デメリット
	現金	・ コインとの交換不要 ・ ・ ・	・ 現金の管理が必要 ・ 両替の準備または利用者が現金必要 ・ ・
	コイン	・ 管理が安心（現金を扱わなくてよい） ・ ご褒美や参加賞などとして提供可能 ・ 対象者に事前に配布可能 ・	・ 現金との交換の手間を要する ・ 利用団体との精算が必要 ・ ・
実施原資	・ 地域独自の予算事業（自己資金1割または3割必要→トイ収益を充てる） ・ ・		
資金の 分配方法	分配先（団体）	・ 諏訪地域で地域のために活動する団体のうち、利活用を希望する全団体	
	分配方法	・ 利活用団体が全額収益とする ・ 店舗等への“貸出”は配分を検討	
獲得資金目標 設定			
懸念事項			
その他	・ お披露目のタイミング ・		

他団体事例

確認事項	回 答
価格設定	500 円（500 円設定のマシンを使用）
カプセルの内容	地域の名物、店舗などの写真を用いた亚克力キーホルダー
作成数、ロット	第1弾：6 種+シークレット1 種 計 300 個、第2弾：7 種 計 300 個
店舗への貸出	・ 設置希望のあった店舗に2 週間ずつ設置(実績7 店舗) ・ カプセルトイ本体の移動、設置は団体が行う ・ 店舗への設置代支払いや貸出料等無し ・ 店舗は内容物や現金の管理は行わない ・ 店舗による SNS 等での発信可（集客に繋げる）
その他	貸出に関する規約等なし … 店舗へは“貸出”でなく、“置いていただいている”ため、管理等は団体が行っており、店舗は両替等の“協力”まで。